

元カノ人妻は

俺の膣内イキ

セックスが

忘れられない


体験版







きやう
な何するんですか




俺に押し倒され
組み敷かれたオンナがそう言った

そしてその左手の薬指には…
リングが光っている


わ…わたしっ
人妻なんですすよ!?!
こ…こんな事—

なあ…理沙ちゃん…?



彼女の名前は
吾妻理沙子(あづまりちる)

だがそれは旧姓であり
今は別の苗字となっている



彼女の言うとおり…
今の理沙子は人妻であり…

そして俺は
その理沙子の元恋人—
元カレというヤツだった

は話があるなら…
まずは「いい」を
どいてくださーいっ
ごっくんなの…
強姦ですよっ!?

強姦…ねえ



そもそも…なぜ
こんな事になっているかどうして——



当時 大学生だった理沙子は
絵に描いた様な箱入りのお嬢様だった

そんな理沙子に惚れた俺は
なんとか距離を縮めようと
努力に努力を重ね…

その甲斐あって
半年後には恋人同士の関係になった

そしてさらに半年後…
俺の誕生日に初体験をすることが出来た

しかし 所詮は処女と童貞…
その初体験はほぼ
理沙子が痛い思いをするだけに留まり…

理沙子が『それでも嬉しかった♡』と
言ってくれなければ
俺は立ち直れなかつただらう…

深く反省した俺は
女性経験豊富な先輩達に
頭を下げまくり…

ひたすらセックスのコツや
テクというものを伝授してもらった

そして身につけた知識を元に…
自らの欲求を全て我慢し
ひたすら理沙子を愛撫しまくった結果…

チンポをハメた途端
理沙子のマンコが
ちゅうちゅと吸いついた♡

ちゅうちゅ



んあああつ♡
な…なにこれえつ
きもち…いいつ♡
おチンポキモチいーのおお♡

じゅわん

セックスの前…
食事の段階から
情熱的に愛を囁き…

ホテルでは一緒に風呂に入って
イチャ付きながら
湯で理沙子の身体を温めて
感度を上げた

じゅわん

そしてベッドの上では…
全身を愛撫しつつ
Gスポットをこねてもか
丹念に撫でまくった

あつ ああん♡
きもち…イイ♡

狗朗のおチンポお♡
…すつぐくキモチいいのお♡
んあああ♡

ちゅぽ、

ちゅぽ、

そう言いながら…
理沙子はマンコでチンポに甘えまくる

何度も指マンで膣内イキしたおかげで
キツすぎるマンコは
適度な締め付けになっていた

その瞳は
俺を見つめて潤み…

ぢゅぽ、
ぢゅぽ、

ぢゅぽ、
ぢゅぽ、

んあああつ♡な…なんでえつ
なんでこんなにおチンポ♡
キモチいいのぉ?!♡んひい♡

ああ…理沙子
すいへく回廻らせへく…
理沙子のマンロもへく絡みしつて
♡へへ♡持ちたい♡

ちゅう♡
もお…恥ずかしいから
見ないでえ♡

ちゅっ、
ちゅっ、
ちゅっ、

ちゅっ、
ちゅっ、
ちゅっ、

…ん？
なんでだ？

だだつてえ…今のわたし
キモチよすぎで…
絶対だらしない顔
してるからあ…あひっ♡

ふふ そんな事ないぞっ？
チンポでよがってる
理沙子も…
滅茶苦茶可愛♡

どしゃどしゃ
おっぴん

あーっ♡
か可愛いとか言わないでえ♡
あぁっ♡でも…
おチンポたまんないいい♡

本当に可愛いよ♡
…理沙子は身体も綺麗だし
感度もいいし…最高の女だよ♡

おチンポ
たまんない♡

んあっ♡ソコお!!?
キモチよすぎんぬううう!!?
らめっ感じすぎんぬううう!!?
んひっ♡

理沙子は本当に
Gスポが好きだなあ♡

つか…チンポのかりで
もっとうすうすうやるよ
…ほっ♡

どしゃぶ
どしゃぶ
どしゃぶ

ヒク
ヒク

ヒク
ヒク

あああ♡
しゅー♡のお♡
んああ♡♡
ごーん♡なの♡
おかしくなっ♡ちやう♡じ♡
ひあああ♡♡

理沙子のヒロシ声…
マジで可愛くも♡
なり…もじと
イカせてもいいか？

…ハアハア♡ ああ…なんでえ♡
狗朗のおチンポ♡
本当にキモチよすぎるのにおお♡

ヒク

ヒク

わたしのおまんこ♡
ずっと喜んでじやい♡

…あぁっ もっど
おチンポ欲しいっ♡

おチンポでおまんこ♡
もっどずんずん♡
ってしてえ♡んあぁあ♡

ヒク
ヒク

ヒク
ヒク



ああ…くぐぐぐ
理沙子っ 變っしん

狗朗おお♡
…わたしも好き…♡
大好き♡ 狗朗…くろお♡
ああ…こんなのはじめてえ♡
ももおらめえ♡
わたひ…イク♡
イツつちやう♡

♡♡♡
♡♡♡

あむ

あむ

ああっ俺もイクぞー！
理沙子っ
ザーメン…どっくに欲しいっ？

ああいいよ…膣内で
ナカに出してええ…♡
狗朗ならぜんぶ
捧げてもいいのお 狗朗おお♡

り理沙子…♡
うっおおおおっ！

おん

おん

ぐん、
びん、

んあああ♡
イク♡イク♡
イツちやうのおお♡


イクイク♡
おマンコイク♡
おマンコ♡
イツちやうのおお♡



ジュワッ
ジュワッ
ジュワッ

りっ
理沙子っ





すっかり俺のチンポに馴染んだ
理沙子の子宮口にキスをしながら…

俺はゼロ距離で
ザーメンを打ち込んでゆく…

トクメルル

はぁん♡

びしょ♡

はぁん…狗朗お♡
ハアはぁ♡
精子 気持ち…イイ♡

こっんなすごいの…
うまれて はじめて♡

俺の精液を子宮に受けながら
理沙子もまた…
絶頂の余韻に身体を震わせたのだった♡

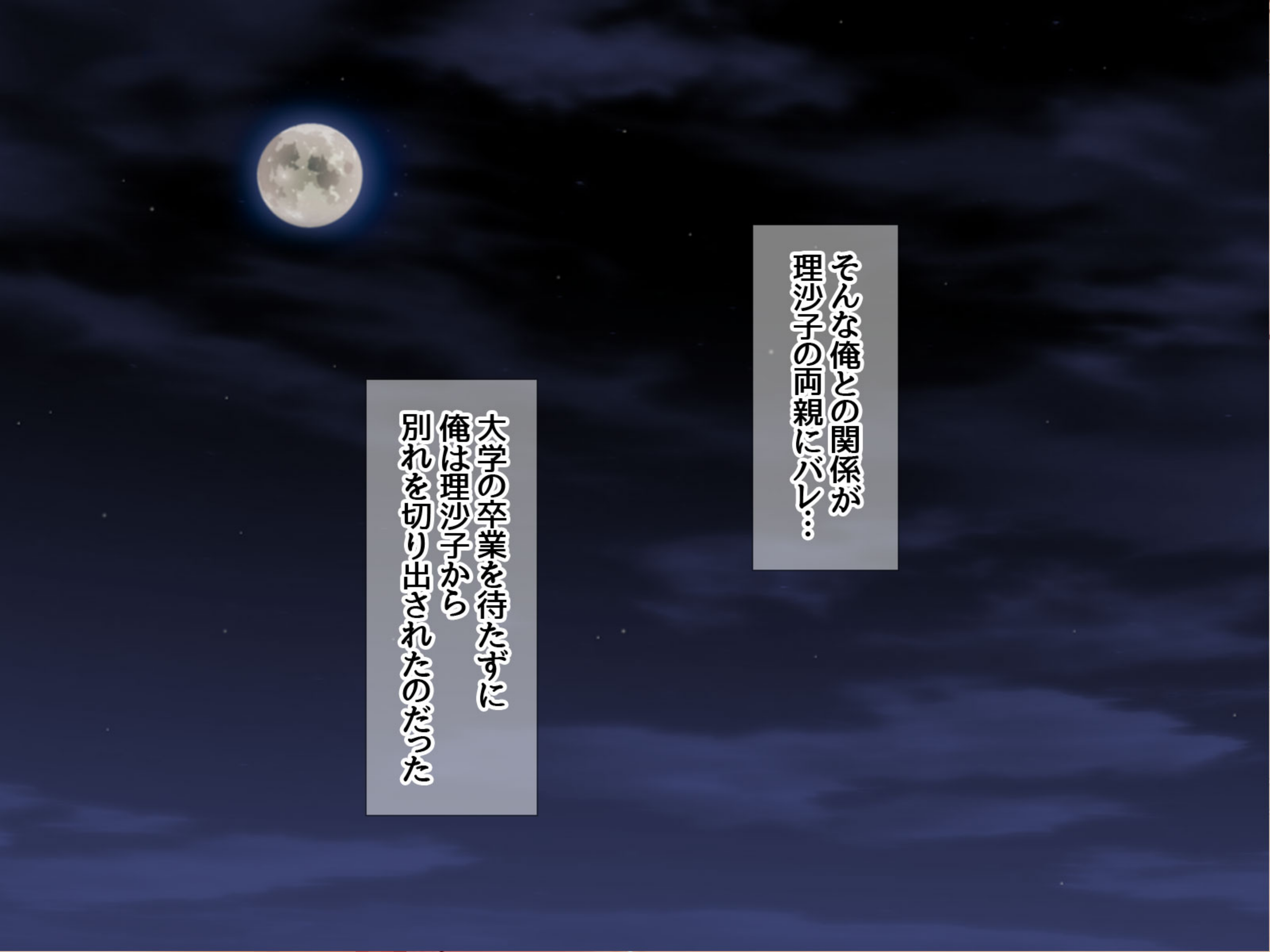




こうして…膣内イキを覚えた理沙子は
俺とのセックスにハマりにハマリ…

俺の部屋に入り浸り
休日など一日中セックスすることも
珍しく無かった

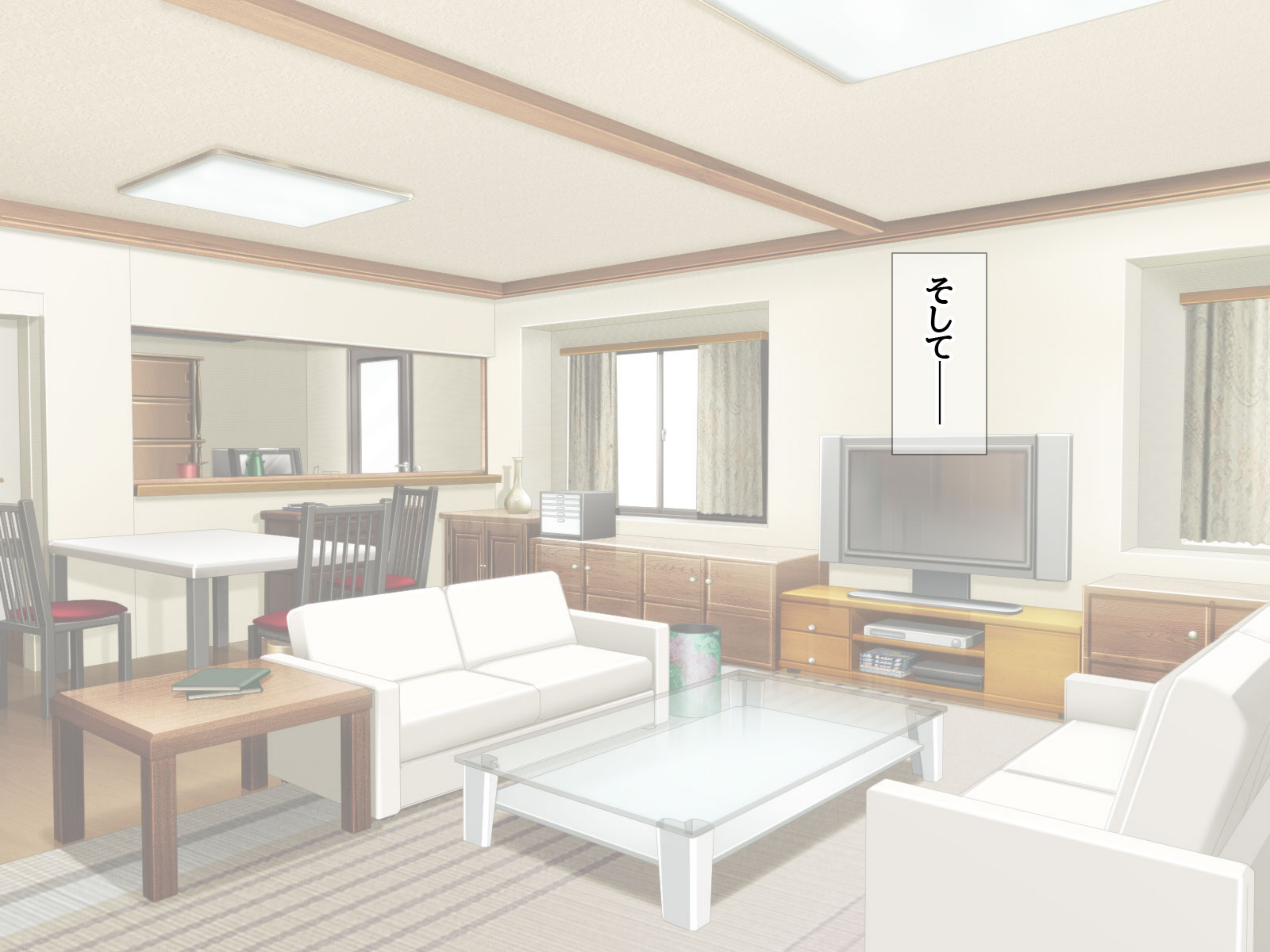
そしてついには
授業そっちのけでセックスに耽る様になり…




そんな俺との関係が
理沙子の両親にバレ…

大学の卒業を待たずに
俺は理沙子から
別れを切り出されたのだった






キッチン



理沙子と別れた俺は
なにもかも
やり直すつもりでこの街を出て
東京で就職をした

そしてがむしやらに働いて…
さほど続かぬ恋愛も
それなりに愉しんで—

そんなある日
理沙子が地元で結婚したと聞いた



それからしばらくして…
俺はいきなり倒れてしまった

原因は『過労』…
田舎から入院先に飛んできた両親に
大いに心配を掛けた様だ

そして…俺は地元に戻り
家業を継ぐことにした
いわゆる『都落ち』というヤツだ



あのな…理沙子
俺…間違っていないよな？

なっなにが…
間違っていないって
言うの!?

いんなの

ほほう？ 俺を振った後
いつさいの連絡を
寄越さなかった理沙子が――

ああ…結婚した事も
教えなかったクセに…

俺が地元に戻ってきた途端
新居に呼びつけておいて…か？

そそれは…

世間的にはなっ？
『旦那の留守に男を引き込んだ
っていうんだぜ？』って言うの

ち…違うわっ
わたしはただ…その…

美夏のことを
あなたに
注意しようと思っ…

へえ 美夏ねえ


美夏(みか)は…
俺と理沙子の共通の友人で
いわゆる『恋多き女』
というヤツだ

恋人を作れど長続きせず
しよっちゅう彼氏を
変えているオンナで…

で…
美夏から聞いたのか？
俺とのコトを

えええ…
美夏と寝たそうね？

口が軽いな…美夏のヤツ
ま…恋愛脳のアイツなら
黙っていられないだろうな



この街に帰ってきた俺を…
美夏を含め 地元の友人達は
わりと好意的に出迎えてくれた

まあ…
恰好のネタにはなったのだろう
友人達に飲み連れ回されて
さんざんいじられた

あー
いちおう断わっておくが…
美夏から誘ってきたんだぜ？

ま…俺に拒む理由もなかったんで
そのままラブホ行ったけどな

み美夏は…
結婚を考えてる彼氏が
いるのよっ？…なのに…

ああ知ってるぜ？
さんざん愚痴を
聞かされたからな

ま…アイツも
いざ結婚となると
ホントにこの男でいいのか？
とか悩んでるんだろ

そ
それでも…

ふうん…

ま…なんとなく
理沙子の考えている事は
察しが付く

理沙子は…悔しいのだ
自分が振った男が
他のオンナを抱いているのが


なあ 理沙子？

美夏のヤツ…あの晩のコト
なんて言ってた？

そ そんな事…
言えないわ…
言えるわけ—

ああ そうだろうな
アイツ…
メチャクチャ腔内イキして
汐吹きまくってたからなw

…なっ!?



おそろく…
美夏は俺とのセックスを
理沙子にノロけまくったのだ

あえて元カノである理沙子に
その凄さを自慢するかの様に

俺にはな
ごう言つてたぜ？


『いままでハメたオトコの中で
いつちばんキモチよかったあ♡』
ってな

うん...

そっぴいっぴいもっすっすしていた

『理沙子もこんなセックスしてたら…
そりやアンタにハマるハズよね〜』

『おかげでダンナのセックスじゃ
全然イケてないみたいよ?』
…と



それはそうだろう
生真面目で処女だった理沙子を
あそこまで膾内イキ漬けにしたのだ

とはいえ…
世間知らずの理沙子のコトだ

セックスなんて多少の差はあれど…
どのオトコとしても同じ様なモノだと
思っていたのだろう

なっ!?!
何を言ってるの!?!
美夏には彼氏が――

結婚は考えてるだけで…
まだ婚約すらしてないんだろ?
なら別に問題ないって

でっ
でも…



あのな…？ 理沙子
俺のコト…
色々と聞いてるんだろ？

き
聞いてるって…

街を出て
東京で就職したものの…
あげく身体を壊して
都落ちしたってハナシだよ

それは…
聞いているわ

なら話が早い俺だつてな？
癒しが欲しいんだよ
具体的にはオシナの
人肌がな

だ
だからって…



お互い分別のある
大人同士のすることだぜ？

俺と美夏が付き合ったって
いいじゃねーか

で
でも



そもそも…
理沙子は
俺をフツたんだぞ？

そんなヤツの言うことを
なんで聞かなきゃ
いけないんだ？

……み 美夏は
わたしの友達で…あなたとも
わたしはかつて関係があつて



そそんな…
ひどい

その関係も
理沙子から
断ち切ったんだろ？


なら 俺らのゴトには
口を挟まないでくれ





えっ？

なら…理沙子？
お前が美夏の代わりに
なつてくれるのか？



理沙子の不安げな表情に
うつすらと喜色が見え始めた

やっぱりだ
理沙子は俺とのセックスが…
忘れられなかったのだ

なに 簡単なコトだ
理沙子が俺に
抱かれてくれば…
俺は美夏に近付かない

な 何を言つて—
わたし 人妻なのよ?

知ってるよ でもな?
理沙子…
勘違いするんじゃない



そ
そんな!?

俺はお前の愛人でも
不倫相手でもない…
一方的にお前を犯すだけだ

ああ…
犯すって言うのは
誤解を招くな…

理沙子と
キモチいいセックスがしたい
これが正確だな

き
気持ちいい…
セックス…？

ああいわゆる
暴力的なセックスは
絶対にしない
約束する

むしろ昔みたいに…
カラダの芯からトロける様な
膣内イキセックス…だな

カカカカ...



それに...お前達夫婦の仲を
引き裂く様なコトもしない

俺はただ...
癒されたいだけなんだ
理沙子...昔みたいに
お前を抱く事でな





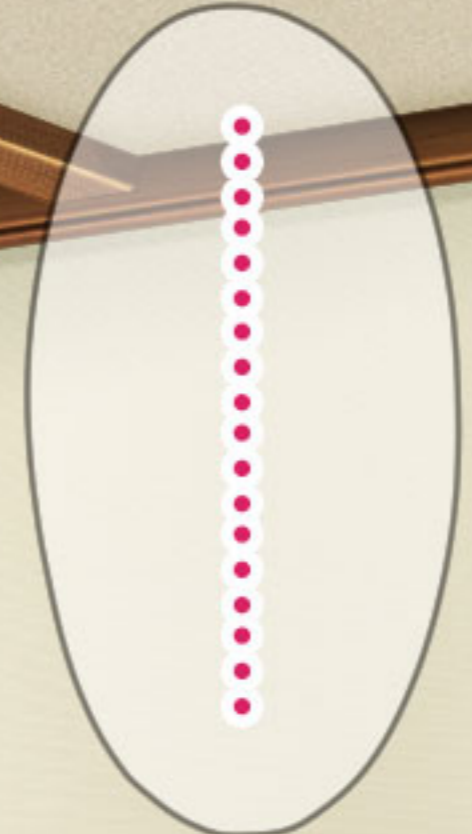
さて…

理沙子はどう出るかな？

とりあえず

大義名分は与えてやった

あとは理沙子次第だが――



だ誰にも内緒…
特に夫には絶対に
知られないようにして…

ああ
もちろんだ






だったら
いいわ

きやう
んむつ

ああ…
なら契約成立だ

ぐ
い
っ





俺は 有無を言わさず
理沙子を押し倒し
その唇にキスをした

んっ やっ...
きキスは—

チュっ...ダメだ
俺らのセックスで
キスをしなかった
事があるか？

んちゅ…んあつ
はあはあ…なかつたわ…
でもいきなりなんて…ひどい


ああ 俺は理沙子を
無理矢理抱くような
悪いヤツだからなW
チユツ♡

ちゅ…
ああ…こんなの…
ダメなのにい…
ちゅっれるっ

ちゅっ…

ちゅっ





久しぶりに逢った理沙子は
服やアクセサリーの趣味も
変わっていたが…

そのキスの味と唇の柔らかさは…
全然変わっていないかった



さて……ううして改めて
理沙子の家を見てみると……

それなりに広いリビングには
わりと品のいい家具が置かれており

いかにも
比較的金銭に余裕のある新婚家庭……
そういったイメージが感じられた



美夏から聞くところによれば…
理沙子の夫は8歳年上の商社勤務

いわゆる見合い婚で
年齢は離れているものの
表面上は上手くいっているらしい

ただ問題は…
夜の夫婦生活ってワケだ

そして…理沙子は基本
生真面目で
嘘のつけない性格だ

故に その場を茶で濁すような
適当なコトは言わず
そのまま押し黙ってしまう事が多かった

だから——



なあ 理沙子
ちよつと聞くが…

お前
ダンナとのセックスに
不満はないのか？

なっ!?

……



案の定だ 凶星を突かれて
理沙子は押し黙ってしまった

ああ 勘違いしないでくれ
別にダンナを貶す気もないし
プライベートを探る気もない

な なら…
何故そんなこと
聞くんですか？



言っただらろ？

俺は理沙子…

お前を抱く事で癒されたいんだ

だから

理沙子を悦ばせてやりたい

お前の望むセックスをしてやりたい

わ
わたしの…
望むセックス…

ああ 俺は知ってるぞ？
理沙子…お前のココロの『殻』を
剥くのがいかに大変か…な

あれだけセックスで
膣内イキさせまくって…
ようやくおねだり
してくれたくらいだからなW

そ
それは



だから…だ
ダンナには言えない様な
おねだりでも…
俺になら言えるだろ？

えっ？

で…俺は
それを絶対に否定しないし
馬鹿にしたりもしない

そして可能な限り
そのおねだりを
叶えてやれるぜ？



さあどうだ？
何かないのか？

理沙子は戸惑いながらも…
思案し—
囁く様な声でこう言った





い以前…
夫のアレを…おくちで
愛してあげようとしたら…

…ん？

『そんな娼婦みたいな
真似はしなくていい！』
つて…怒られたの



あー
ソレはまた
前時代的な…

それに…
愛撫も挿入の前に
指で少し
膣口をほぐすだけで…

あの頃…みたいに
何度も何度も
イカせてくれたり…しないの

それはまた…

あ
ああなたがっ
あんなにわたしを…

だっだからわたしっ
もうずっと…
あれから—





ああ わかった 理沙子…
理沙子の望みは
俺が叶える

いや…
お前は美夏の代わりに
俺に抱かれたいといけない

……



...う!?

今からお前を抱いて
狂いそうな程に
イカせまくってやる



理沙子…
俺のチンポをしゃぶれ





アハハ

目にいつぱいの涙を溜め…
理沙子がチンポにしゃぶり付く

その涙は…屈辱の涙か
はたまた歡喜の涙か？

おは

くうつ…あ 相変わらぬ
理沙子のフェラは極上だな

じゅぶぶぶ
いいや…こんな顔
みないで…んじゅう

へい

下下下

ど
い
っ

俺は
理沙子の頭上に置いた手に
少しだけ力を入れる

こうしていると…
ムリにイラマチオでも
させているかの様だが…

実の所は
軽く乗せているだけだ

ダメだ その綺麗な顔が
チンポをしやぶぶつて
歪むところを
じっくり見てやるよ

うう...ひびく
くさくさ...
くさくさ...

チンポ

チンポ

もちろんそれは…
嫌がる理沙子に無理矢理させている…
というポーズに過ぎない

とはいえ…効果は抜群

この程度のレイプ…でも
理沙子の興奮はかなり高まった様だ♡

チン
ッ

チン
ッ

ふふ…どうだ？
お前の処女を奪った
チンポの味は？

旨いか？ 懐かしくて
涙が出るだらう？

うう…そ そんなわけ…
じゅぶぶっんちゅうっ

チンポ
チンポ
チンポ

チンポ
チンポ
チンポ

くもっ!!?

…などと言いながらも
理沙子の舌は口内で巧みに動く

チユウチユウ

チユウチユウ

徐々に昔した奉仕を
思い出してきたのだろうか…
舌と唇が個別に亀頭を舐め回した

じゃじゃあ命令だ
『チンポ美味しい』と
愛情たつぷりに言え

ダメだ言うんだ
愛情たつぷりな
『演技』をしつつ…な？

ちゅ…
それは…

え演技…
ちゅ…

チンポオオオ

チンポオオオ

理沙——

ここのおチンポ…
とつても美味しいから
しゃぶつているだけで…♡♡♡

わわたし…おマンコの奥に…
アクメ——んあう♡
きちやいそつ…ですう♡
んちゆう♡

チンポ

チンポ

り理沙子… ああ
お前は最高の女だよ♡

ぐいっ

びん

びん

んあっ ああ…
ちやんとしゃぶりますからっ
ら…乱暴なことしないで…??

じゅぶぶぶ
ちゅぶぶぶ

くあああつり?!

じゅぶつ♡
ああ 懐かしい……この味
覚えてる♡ ちゅぶぶつ

なんどもなんども……
ちゅぶぶつ わたしを狂わせた……
おチンポのあじ♡ ぶぶぶつ

ちゅぶぶつ

ちゅぶぶつ

あぁっ…!? で…出るっ!
理沙子っ…理沙子おっ!?

んぶっ!?
ぶっ!

せ
ぶ
ぶ

せ
ぶ
ぶ

く ああああ...

まるで...チンポから
魂が引き抜かれたかの様な快感

今の俺は...
さぞやだらしのない顔で
呆けていることだろう...

セッ

セッ

うぐっ
うぐっ
ぶっ…んっ!!?

ロクな予告もナシに
口内で射精したせい
か
理沙子は目を白黒させている

しかし俺はそんな理沙子を
押さえつける手に
改めて力を入れた

せ
せ

せ
せ



いっ

んむっ!?

口内にあふれんばかりの
ザーメンを射精され…

理沙子はいかにも
苦しうご身をおごる

うんうんうん

うんうん...
もう忘れたのか？

ザーメン出すときには...
ちゃんとタイミングを合わせて
吸い出せて教えてたろ？

うう…
ゆるひてえ

ダメだ お前の為に
出したザーメンなんだ

ちやんと尿道に残ったヤツも
吸い出してくれるな？
…昔みたい

う…
はい…

そう命ずると…
理沙子はおずおずと
チンポをバキュームする

くあつ!?…い…いぞ
理沙子っ…いいよだ♡

しゃやる。

はっはっはっ

……うっ!?

褒めてやりつつ
乱暴に頭をなでてやる

するとこわばっていた
理沙子の身体が……
ふっと緩んだのを感じた

オロ
オロ...

ふう...もういらいぞ...
ああ ありがとう... 理沙子

.....



オロ
オロ...

俺からの礼に
戸惑う理沙子
とはいえ...その返事はない

それは——

オロ
オロ...

おっと...まだまだ
まだ飲まずに
口の中に溜めておくんだ

久しぶりのザーマンだろ？
たっぷり味わってくれ

っ!?

ぷるぷる

オロ
オロ...

数年ぶりに味わうザーメンだ
さぞかし濃厚な味と匂いがするだろう

案の定…鼻から抜けるその匂いに
クラクラしている様子



オロ
オロ...

おいおい...どうした?
理沙子 昔のお前なら
喜んで味わってただろう?

ワインみたいに
口の中で
テイステイングしてみろよ

...♡♡

オロ
オロ...

とはいえ…理沙子に
そんな余裕はない様だ

油断すればそのまま
吐き出してしまおうだろう

それを理由に罰をあたえるか？
いや…好き嫌いはよくないなw

オロ、オロ...

仕方ないヤツだなあ
じゃあ...
そのまま飲み込まずに
クチを開けてみる

.....
.....
?

クチのナカのザーメン
どれだけ溜め込んでるか
俺に見せてみる

オロ
オロ...

?!?
ええええ

またもや拒絶する理沙子

理沙子にとってもソレは
耐え難い恥辱なのだろう



仕方ないな…じゃあ
悪いがここまでだ

やはり…お前じゃ
美夏の代わりは
務まらない様だな

っ!?

んー




ああ…美夏はノリノリで
やって見せてくれたぜ？
実に嬉しそうになw

なんだ？
どんなプレイをしたかまでは
聞いてないのか？

……

おはな
おはな…



ちなみに…
美夏の件は ほぼウソだw

確かに 何度もイカせた後に
しゃぶってはくれたが…

美夏はすでにフラフラで
全然キモチ良くなかったしな

.....んあ

...おっ?

ハグハグハグ...

よほど美夏には
負けたくないのだろう...

おずおずとはあるが...
理沙子は自分から口を開いた

ははっ 我ながら…
ずいぶん出したなあ

喉の奥にも タツプリ
溜まってるじゃないかw

ハ
グ
ハ
グ
ハ
グ
ハ
グ

うう…そんな
みないれ…

いや見るねw

というか…理沙子
今のお前は…
すごく可愛いからな♡

ハグハグハグハグ...

……ん？

俺なら…


理沙子のその顔だけで
何度だって勃つぜ？

今時…フェラやクンニなんて
やって当たり前だろうに…

理沙子…可愛そうになあ
娼婦だなんて言われて…
シヨックだったろう？

ガクガクガク...

.....



ま…おおかたダンナは
フエラをしようとする理沙子に…

別のオトコの影を感じたんだらうな

それがイヤで
頭ごなしに否定したんだらう
ケツ 処女厨め！

まあ だから
俺には遠慮するな

どうせ俺は…
お前を脅してる悪いヤツだW
そんなヤツに
遠慮なんて要らないだろ？

.....

ふふ…まあいいわ
ああそのザーメン
吐き出していいぞっ？

久しぶりなんだ
キツかったろう…
偉かったな 理沙子♡

う……

アハハハ

ん？
…埋沙子？

…アハハハ

アハハハ
……アハハハ

何を思ったか…
理沙子はきゅっとして目と口を閉じるよ…

きゅん

口内のザーメンを
飲み込んでしまった

ん

だが…その量と濃さで
相当に飲みにくいのだろう…

その表情は辛そうで…
涙目になってしまっていた

ぐんぐん

↑

理沙子…

はあはあ…飲んだわ
あなたの…ザーメン

ア…

ほら…見て？
ぜんぶ
飲んでるでしょ？

ああ 偉いぞ? 理沙子...♡
ははっ すっごく嬉しいよう

やっぱり理沙子は...
最高のオンナだな

ぎゅっ


んあ...

んあ...

その頑張りが愛しくて…
つい理沙子を抱きしめてしまった

しかし…
理沙子は嫌がらずになすがまま





もちろん俺のチンポは…
さらに堅さと太さを増すばかりだった

元カノ人妻は
俺の膣内イキセックスを
忘れられない

オムニ...

あひいっ♡
ややめ—

ん？
止めて欲しいのか？
なら抜いて—

ああっ
やめ...やめないでえええ？
お願いっ おねがだから...
あひいっ♡

元カノ人妻は
俺の膣内イキセックスを
忘れられない

あなたみたいに…
キモチよくないの…

あなたみたいに…
いちどもイカせて
くれないのっ

あなたみたいに…
夢中にさせて
くれないのっ

も…もお♡
でも…嬉しい♡

ずっと…このおチンポが
おしゃぶりしたかったの♡
頬張りたかったのおっ♡
じゅぶぶぶ…♡

♡♡♡

♡♡♡

元カノ人妻は
俺の膣内イキセックスを
忘れられない

元カノ人妻は
俺の膣内イキセックスを
忘れられない

理沙子…♡
よく言えたな…
偉いぞ?!

ああ…狗朗お♡
んっ♡

ちやんと謝ったから…
あの人に謝ったから…
もういいでしょう!?

ね…? だから…
おマンコの奥う♡

わたしのポルチオ…
このおチンポで
ゆさぶつてええ♡

うん

うん

俺の
腔内イキ
セツクスが
忘れられない

原画:熊虎たつみ
シナリオ:身から出た鯖



元カノ人妻は

なか
腔内に
出てるっ
♡

基本画像21枚+立ち絵2体
差分を含め 総CG枚数730枚

あまがみ堂